

## 第 1 号議案

## 平成 2 6 年度事業報告及び収支決算について

### I. 平成 2 6 年度活動報告

なぜ全国農業青年クラブ連絡協議会はこの日本で 6 0 年もの歴史を重ねてくることができたのか？

6 0 数年前、日本は戦後で人間活動の大本である「食」は決して満足のいくものではなかった。その時代に農業の担い手である青年農業者を組織化し、食料増産技術を生み出すなど国民生活に大きな影響を与えてきた。原点に立ち返り全協が持っている価値とは、意義とは何かを振り返り、より現代の農業事情に合ったカタチの全協を創るため、6 1 年目という新たな一步を踏み出す年である。

活動方針を「原点回帰～日本の農業を次のステージへ～」と掲げ、クラブ員の意識向上と日本の農業の明るい未来を創造するため以下の活動を行った。

### 1. 各種事業報告

#### (1) 活動事業

##### 1) 各種会議の開催

- ・ 総会

平成 2 6 年 6 月 3 0 日に開催し、2 5 年度事業の報告、2 6 年度事業の計画等を提示し、討議した。

- ・ 理事会

3 回開催し、主催事業の運営方法等について討議した。

- ・ 日本 4 H 会長会議

「日本 4 H 会長会議」を 3 回開催し、全協が円滑な運営をしていくために、事業の方向性や問題点について話し合った。

##### 2) 全国青年農業者会議の開催

第 5 4 回大会は、平成 2 7 年 3 月 3 日・4 日に開催した。会議ではプロジェクト発表及び農業青年の意見発表、優秀農業青年クラブ発表、歴代の全協会長を 2 名迎え「歴代会長と語ろう 4 H の未来」とのテーマのもと、トークセッションを実施した。プロジェクト発表及び農業青年の意見発表は各ブロックからの代表(プロジェクト発表 1 9 課題、農業青年の意見発表 8 課題)が 3 会場に分かれて発表を行った。プロジェクト発表各部門及び農業青年の意見発表の最優秀者に農林水産大臣賞、優秀者 1 名に農林水産省経営局長賞を授与した。

##### 3) 全国農業青年交換大会の開催

平成 2 6 年度大会は、平成 2 7 年 1 月 2 1 日～2 3 日に、テーマを「R e b o r n」ス

ローガンを「進化する農家のカタチ」と掲げ、全国農業青年交換大会実行委員と共に開催した。1日目は愛知県蒲郡市 蒲郡市民会館をメイン会場とし、基調講演・情報交換会を行った。2・3日目は愛知、岐阜、三重の3コースに分かれてバススクール（現地視察・現地交流）を行った。

#### 4) Feel A Project の開催

私たち若手農業者の想いを消費者側に届け、私たち4Hクラブの活動を消費者や関係団体・企業に知っていただくと共に、積極的に情報交換を行い、共に考えるものとして開催した。イベントは2日間に渡って3つのイベントを開催した。

### (2) 広報推進事業

#### 1) ホームページとFacebookを利用したクラブ活動の啓蒙

昨年から引き続きホームページとFacebook上に全国農業青年クラブのページを通じて、各ブロック・加盟道府県連の活動内容の告知・報告、交換大会・全国農業青年会議の様子を随時更新し、全国のクラブ員へのクラブ活動の啓蒙を促すと同時に日本国内、そして世界に向けてクラブ活動の啓蒙を行った。

#### 2) メールマガジンの発行

日本全国に若手女性農業者の活躍を発信するメールマガジン「だって女の子だもん。～FL (Farm Lady) のためのメルマガ～」に加え、日本農業の情報、私たちクラブ員の想いをクラブ員だけでなく全国の若手農業者や消費者、関係者に配信する事によって、その想いに共感してもらい、私達若手農業者の進むべき道を共に考え共に創造するひとつのきっかけになる事を目指す事を目的とした「全協メルマガ」をそれぞれ毎月1回発行した。

### (3) 活動財源

#### 1) 協賛、協力企業とのタイアップやイベントでの協力

全協主催事業を行う際に各企業・団体へ向け協賛の依頼を行った。

#### 2) 積極的な個人会員・賛助会員募集

団体・企業・個人といった賛助会員の積極的な勧誘を行った。

#### 3) 全協事業の積極的な計画

Feel A Project などクラブ員や一般消費者・企業向けの事業を積極的に行った

### (4) 異業種との連携強化

各企業・団体への働きかけと協力依頼があった際に随時対応を行った。

### (5) 海外との交流

#### 1) 第1回世界4Hネットワークサミット2014への参加

平成26年10月27日～11月2日の7日間に渡り、世界初となる4Hクラブの世界大会に参加した。テーマを「世界の変革のために若者の力を」とし、韓国ソウル市 ソウルオリンピックパークテルホテル・オリンピック体育館にて開催された。

世界75カ国の農業青年、4Hクラブ関係者が参加。日本からは鈴木会長、佐々木副会長、安丸副会長、大林理事、大澤理事、鯉淵学園関係者の6名が参加した。

内容はディスカッション・交流会・現地視察の他、全協の活動内容の展示を行い各国から集まったクラブ員・農業者へ向け日本の4Hクラブの活動内容・クラブ員の取り組みについて紹介した。

#### (5) 他団体との連携

「公益財団法人 農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校」との連携  
今年度、韓国で行われた世界4Hネットワークサミット 2014 といった国際的事業にご協力をいただいた。

#### (6) 関係機関との連携

農林水産省にて加盟道府県連会長・全協役員・理事と農林水産省幹部との政策提言など農林水産省との連携を取り合った。

## 2. 主催事業報告

### 通常総会

#### (1) 開催期日

平成26年6月30日(月)

#### (2) 開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL03-3467-7201(代表)

#### (3) 参加者

各道府県連代表者等	49名
関係者等	5名
合計	54名

#### (4) 会議内容

第1号議案「平成25年度事業報告および収支決算について」、第2号議案「役員を選出について」、第3号議案「平成26年度事業計画および収支予算について」、第4号議案「会の運営その他について」、の各議案を討議した。

### 平成26年度全国農業青年交換大会

#### (1) ねらい

次代の日本農業を担う全国の農業青年が一堂に会し、その知識や技術を相互に交換しながら、全国の仲間との交流・友情を深め、21世紀農業の担い手としての自身と誇りを培うとともに、社会全体への農業理解の促進に資することを目的とする。

#### (2) 主催

平成26年度全国農業青年交換大会実行委員会

#### (3) 共催

東海ブロック4Hクラブ連絡協議会、全国農業青年クラブ連絡協議会

(4) 後援協力

農林水産省、公益社団法人大日本農会、  
愛知県、岐阜県、三重県

(5) 開催期日

平成27年1月21日(水)～23日(金) 2泊3日

(6) 開催場所

メイン会場：蒲郡市民会館 (愛知県蒲郡市)  
バススクール：愛知県、岐阜県、三重県 計3コース

(7) 参加者

都道府県農業青年	226名
指導者等	25名
来賓等	20名
運営委員等	29名
合計	300名

(8) 主要行事

①基調講演

有限会社広野牧場代表取締役の広野正則様に「農家から農業経営者へ～進化するとき～」という題で講演をしていただいた。

②情報交換会(交流の夕べ)

全国の農業青年や関係者が集い、情報交換や親睦を深めて相互に交流した。

③バススクール(現地視察・現地交流会)

愛知コース、岐阜コース、三重コースの3コースに分かれ、農業関連施設・観光地などの視察を行った。

## Feel A Project

(1) ねらい

昨今、TPP、農業者の担い手問題、食の安全・安心、生産と消費の距離を縮める食育の必要性など、食と農業について多くの議論がなされている。その一方、私たち若手農業者は、消費者の求める農産物を日々生産し、消費者に届けたいという熱い思いが消費者側へ十分届いていないもどかしさを感じている。

私たち若手農業者の思いを消費者側に届け、私たち4Hクラブの活動を消費者や関係団体・企業に知っていただくと共に、積極的に情報交換を行い、共に考えるものとして開催した。

(2) 主催

全国農業青年クラブ連絡協議会

(3) 開催期日

平成27年3月4日(水)～3月5日(木) 2日間

(4) テーマ

「農業を共に考えよう」

参加するすべての人が新しい気づきや行動、成長をひとつでも掴みとってもらう。

(5) 開催イベント・詳細

3月4日（水）

13：30～「農業関連企業との意見交換会～農家と農業メーカーのいい関係～」

関東圏を中心に、農業関連企業との意見交換会を行った。若手農業者の現状や現場の要求、各企業への商品開発・改善に向けた提案など、お互いに情報の共有を行い、今後の自らの経営向上を図った。

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟ミーティングルーム  
参加者：企業 11社 クラブ員30名程度

19：00～「農コン～掘り起こせ！農地と私の旦那さま！～」

農業青年と首都圏で農業に興味のある女性と出会いを通じて、出会いを求めると共に、生産者と食に敏感な女性消費者が直に交流し、農業や農家を身近に感じてもらった。また、参加した農業青年の生産物を使った料理を振るまい、交流を深め3組のカップルが誕生した。

会場：六本木農園（東京都港区）

参加者：農業青年 20名、一般女性 20名

3月5日（木）

10：00～「農塾～ねえねえ！教えて！！農家さん～」

生産現場にいる農業青年が講師となり、農業に対する経験と情熱を直接消費者に伝えた。また、消費者からも意見をもらい、共にこれらからの農業を考えるきっかけを作った。

会場：ウィズビジネスセンター 八重洲山川ビル5階

参加者：クラブ員 20名・一般参加者 8名

## 第54回全国青年農業者会議

(1) ねらい

この会議は、日本農業の担い手として、農業や農村生活環境の改善等を実践している若者たちが、体験した成果をお互いに発表しあい、直面する問題の解決方法や発展方向を見出だすと共に、農業を取り巻く諸問題を討議して、新しい農業及び農村の建設に資することをねらいとして開催した。

(2) 主 催

全国農業青年クラブ連絡協議会

(3) 後 援

農林水産省、全国指導農業者連絡協議会、社団法人全国農業改良普及支援協会  
公益社団法人大日本農会

(4) 開催期日

平成27年3月3日（火）～3月4日（水） 1泊2日

(5) 開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

(6) 参加者		
青年農業者、青少年担当普及指導員、都道府県青少年担当者等		399名
関係者等		42名
一般参加者		23名
合計		464名

(7) 会議のテーマ

「原点回帰 そして、新しい道に一步踏み出す」

(8) 会議内容

①優秀農業青年クラブ活動事例発表

平成26年度優秀農業青年クラブ表彰で大臣賞を受賞したクラブの活動事例発表を行った。

②農業青年の意見発表

各ブロックの代表者による意見発表を行った。

③プロジェクト発表

各ブロックの代表者によるプロジェクト発表を行った。

④交流の夕べ

クラブ員同士の交流と親睦を深め、友情の輪を広めた。

⑤トークセッション

大会テーマである「原点回帰」のもと、歴代全協会長と地域リーダーとして活躍しているパネラーとのトークセッションを通して、60年の歴史を振り返り、これから日本農業を支える4Hクラブの未来をどのように歩んでいくのかを共有した。

### 第1回日本4H会長会議

期 日 : 平成26年7月1日(火)

場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

- 議 事 : ①報告事項
- ・平成26年度全国農業青年交換大会 東海大会について
  - ・平成27年度全国農業青年交換大会 東北大会について
  - ・グローバル4Hネットワークサミットについて
- ②協議事項
- ・平成26年度以降の全協について

### 第2回日本4H会長会議

期 日 : 平成26年11月26日(水)～11月27日(木)

場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

- 議 事 : ①報告事項
- ・平成26年度全国農業青年交換大会 東海大会について
  - ・平成27年度全国農業青年交換大会 東北大会について
  - ・第54回全国青年農業者会議について
  - ・第1回世界4Hネットワークサミット2014について
- ②協議事項
- ・全国青年農業者会議大会ルール改正について
  - ・優秀クラブ表彰について
- ③その他
- ・農林水産功績者等表彰規定(農林水産大臣賞)について
  - ・Feel A Projectの各イベントについて

### 第3回日本4H会長会議

期 日 : 平成27年3月4日(水)

場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

- 議 事 : ①報告事項
- ・平成26年度全国農業青年交換大会 東海大会について
  - ・平成27年度全国農業青年交換大会 東北大会について
- ②協議事項
- ・全国青年農業者会議大会ルール改正について
- ③その他
- ・交流プログラムについて

### 3. 会議開催および役員派遣・参加実績

#### ア. 理事会の開催

月 日	用 務	場 所	出 席 者
6月29日	第1回理事会 1)総会・会長会議準備 2)役員引き継ぎ 3)勉強会	東京・赤坂 大日本農会	大越、工藤、安丸、佐々木、森安、鈴木、小倉、松本、本、木村、曾田、岩瀬、船山、関、清野、会津、林、斉藤、成田、大澤、大林、奥平、小野、山崎、石原
11月25日	第2回理事会 1)第2回日本4H会長会議について 2)Feel A Project について	東京・赤坂 大日本農会	鈴木、佐々木、安丸、森安、岩瀬、船山、斉藤、大林、小野、湯浅、山崎、工藤、関
2月3日	第3回理事会 1)第54回全国青年農業者会議について 2)Feel A Project について	東京・代々木 国立青少年センター	鈴木、佐々木、安丸、森安、岩瀬、会津、船山、大林、小野、湯浅、山崎、関
3月2日	第4回理事会 1)第54回全国青年農業者会議について 2)Feel A Project について	東京・代々木 国立青少年センター	鈴木、佐々木、安丸、森安、岩瀬、会津、船山、成田、斉藤、大林、小野、湯浅、山崎、工藤、関

#### イ. スカイプ会議の開催

月 日	
毎月 4・14・24 日	基本的に毎月4・14・24日に役員・理事でスカイプ会議を開催。 今年度は31回開催した。 また、役員の資質向上のために月1回勉強会を実施。必要に応じて各役員・理事でスカイプ会議を随時開催した。



ウ. 執行部会等の開催

月 日	用 務	場 所	出 席 者
9月10-11日	平成26年度全国農業青年交換大会 実行委員合同会議及び役員会	愛知県	鈴木、佐々木、安丸、森安、岩瀬、大林、山崎、工藤

エ. ブロック、県連等派遣及び参加実績

月 日	用 務	場 所	出 席 者
平成26年 5月9日	九州・沖縄地区農業青年クラブ連絡協議会 代表者会議	大分県	岩瀬、小野
5月15日	東海ブロック4Hクラブ連絡協議会 平成26年度通常総会	愛知県	鈴木、森安、大澤、山崎 大越
5月27日	平成26年度関東ブロック農村青少年(4 H)クラブ連絡協議会総代会	東京都	斉藤、関
6月11日	平成25年度東北農業青年クラブ連絡協 議会第2回幹事会		工藤
7月9日	平成26年度関東ブロック農村青少年(4 H)クラブプロジェクト実績発表会	栃木県	鈴木、船山、斉藤、湯浅、関
7月24-25日	九州・沖縄地区青年農業者会議	大分県	小野
8月5日	平成26年度中国四国農村青年クラブ 総会	岡山県	森安、奥平
9月4-5日	第45回東北農村青年会議 山形大会	山形県	鈴木、会津、我満、
10月26日 -11月2日	世界4Hネットワークサミット2014	韓国	鈴木、佐々木、安丸、大林、 大澤
10月28-29 日	第47回中国四国地域若い農業者の集い	山口県	森安

11月5-6日	九州・沖縄地区リーダー研修会	大分県	小野
11月13-14日	平成26年度北陸ブロック農業青年会議	新潟県	鈴木、成田
平成27年			
1月13-14日	平成26年度近畿地域農村青少年会議	滋賀県	鈴木、大林
1月21-23日	平成26年度東海ブロック農村青少年会議	愛知県	鈴木、山崎
	平成26年度全国農業青年交換大会	愛知県	鈴木、佐々木、安丸、森安、岩瀬、船山、斉藤、成田、大澤、大林、湯浅、山崎、工藤、関
1月28日	平成26年度優秀農業青年クラブ表彰選考委員会	東京都	鈴木
1月29-30日	平成26年度北海道青年農業者会議 通常総会	北海道	鈴木、安丸、林
2月2日	埼玉県青年農業者発表会	埼玉県	鈴木、斉藤
2月6日	長野県青年農業者プロジェクト発表コンクール	長野県	鈴木、湯浅
2月19日	第61回JA全国青年大会	東京都	安丸
2月20日	JA全青協創立60周年記念セレモニー	千葉県	安丸
2月25日	北陸ブロック総会	石川県	成田
3月16日	東北農業青年クラブ連絡協議会平成26年度第2回幹事会	秋田県	会津、工藤
4月21日	奈良県4Hクラブ連絡協議会結成60周年記念式典	奈良県	鈴木、佐々木、森安、大林



